

北海道

礼文町立香深井小学校 [3・4・6年生]

2025年7月9日(水)

●講師

主講師: 藤嶺 和隆(北海道支社)
: 寺岡 重樹(北海道支社)

●授業の様子

- ・4年生は「夏のお便り」、3年生と6年生は「お礼状」の書き方授業を行いました。
- ・学校の事前準備のおかげで、スムーズに進めることができました。
- ・全児童が時間内に完成させることができました。
- ・最後に、完成したお便りを模擬ポストへ投函しました。



千葉県

南房総市立千倉小学校 [4年生]

2025年7月22日(火)

●講師

主講師: 尾形 憲正(丸山石堂郵便局 局長)
副講師: 生稲 秀成(千倉白子郵便局 局長)

●授業の様子

- ・手紙の大切さについて説明をし、郵便クイズを行いました。
- ・表面の書き方、裏面の前文・本文・末文の書き方を伝え、丁寧に書くよう説明しました。
- ・先生と講師でサポートしながら進められたので、表面・裏面ともに完成することができました。
- ・簡易ポストを使い、児童たちにポスト投函の体験してもらいました。



東京都

豊島区立池袋第三小学校 [2年生] 2025年7月17日 (木)

●講師

主講師: 近 昌哉 (南池袋郵便局 局長)
: 山内 秀記 (サンシャイン60内郵便局 局長)
: 金子 栄一 (池袋駅前郵便局 局長)
副講師: 伊藤 俊一 (豊島高田郵便局 局長)
: 森田 亮介 (西池袋郵便局 局長)

●授業の様子

- ・はがきを初めて書く児童もおり、基本的な表面の書き方からはじまり、郵便番号の意味を説明しました。
- ・児童たちに楽しく授業を受けてもらうために、さまざまな郵便物やいろいろなポストの画像を紹介しました。
- ・クイズ形式を用いて、たくさんの児童から発言してもらう場を作りました。
- ・児童たちはみな楽しそうに授業に取り組み、はがきを上手に書きたいという意欲が伝わってきて、大変嬉しく思いました。



神奈川県

横浜市立すみれが丘小学校 [3年生]

2025年7月7日 (月)

●講師

主講師: 金子 浩之 (青葉台郵便局)
副講師: 右原 達也 (横浜すみれが丘郵便局 局長)
: 串田 一明 (横浜池辺郵便局 局長)

●授業の様子

- ・表面の書き方について、重要なのは郵便番号とあて名のバランスであること、相手の名前を先に書き、全体のバランスをとることの大切さを説明しました。
- ・裏面については、テキスト例文を用いてなぞり書きをして、文面のバランスをとることを体験しました。
- ・児童たちはみな元気いっぱい、集中力のある児童たちでした。
- ・児童がみな楽しそうに取り組んでいる姿を見て、私たちが力をもらいました。

新潟県

魚沼市立伊米ヶ崎小学校 [3年生] 2025年7月15日(火)

●講師

主講師:坂大 敦(堀之内郵便局 局長)
副講師:山崎 政夫(伊米ヶ崎郵便局 局長)
見学者:木村 実弦(信越支社)

●授業の様子

- ・伊米ヶ崎郵便局 局長あてに夏のお便りを書くことをテーマとしました。
- ・3時限目に表面の書き方を学びました。
- ・4時限目は裏面の書き方について学びました。
- ・手紙が届くまでの流れについてもわかりやすく伝えました。



静岡県

西伊豆町立賀茂小学校 [2年生] 2025年7月14日(月)

●講師

主講師:福與 静(岩科郵便局 局長)

●授業の様子

- ・町内にある郵便局と郵便局のお仕事(3事業)を紹介しました。
- ・ほとんどの児童が、郵便局はポストに入れた郵便物をあて先に届けることが仕事だと理解していました。
- ・「暑中見舞い」について、テキストを使って差し出す時期や目的を説明しました。
- ・表面の書き方では、宿題としてあて先などの準備ができていたこと・あて名書きテンプレートを使用したことでスムーズに書くことができました。
- ・裏面は、何を書いてよいか悩んでいる児童には、夏休みにやりたいことや、プールの授業が楽しいことなどを書いたらどうかとアドバイスしたことで書き始める児童が数人いました。
- ・早く書き終えた児童は絵を描いたりスタンプを押したりして自分のオリジナルを作り、児童同士で確認しあうなど楽しそうに取り組んでいました。



●講師

主講師:丸山 直亮(屋形郵便局 局長)
見学者:小西 正弘(市川瀬加郵便局 局長)
見学者:大塚 雄一(市川郵便局 局長)

●授業の様子

- ・先生方や児童たちが温かく迎えてくださったことで、緊張がほぐれ、落ち着いて授業を実施できました。
- ・児童は、郵便局についてや手紙の書き方についての説明を真面目に聞いてくれました。
- ・1月に、先生方による年賀状の書き方授業を実施されていたようで、手紙の書き方についてある程度覚えていたことに感心しました。
- ・児童たちからは、丁寧に書こうと何度も書いたり消したりと一生懸命さが伝わってきました。
- ・質疑応答の時間では多くの質問があがり、全体を通して楽しく授業を進められたと思います。
- ・メールやSNSの普及で手紙や年賀状離れが進む中、この出前授業は、文字を通して思いを伝える大切さを児童に実感してもらえるよい機会となりました。

●講師

主講師:前田 直美(今治東門郵便局 局長)
副講師:藤高 研志(泊郵便局 局長)
見学者:河野 嘉雄(田野郵便局 局長)
 :一色 厚志(来見郵便局 局長)
 :越智 敦子(来見郵便局)

●授業の様子

- ・テキストに沿って、郵便に関しての基礎的な内容と、はがきの書き方を学びました。
- ・児童は講師の話をしっかり聞き、授業に取り組んでいました。
- ・ご家族の協力により、事前にあて先を決めて下書きをしていただいたので、授業が進めやすく、2時限で暑中見舞いを完成することができました。
- ・5時限目にはポスト投函の時間を作り、児童たちは喜んでいました。

●講師

主講師: 渡邊 優佳(九州支社)

副講師: 青木 晶史(下岳郵便局 局長)

見学者: 五反 洋子(文政郵便局)

●授業の様子

- ・1時限目は「色々なはがきや切手・郵便番号・ポスト」を紹介しました。
- ・変わった形のポストの写真を見た児童からは驚きの声があがりました。
- ・表面と裏面の書き方について説明しました。
- ・書き終えた児童は自由に絵を描いたり、児童自身が既に作成していた消しゴムはんこを押印したりして、オリジナルの暑中見舞いを完成させました。
- ・児童からは「手紙の書き方が分かったので、次は暑中見舞い以外の手紙も書いてみたいと思った」「手紙を書くのが楽しかった」といった感想があがりました。
- ・完成したはがきは、授業後にみんなで近くのポストに投函しに行くとのことでした。

